第4回AI共生型社会実現促進ワークショップ

12/2(火)
15:30-17:40

オンライン/参加費無料
※応募者多数の場合、申込早期締め切りの可能性有
主催:IPA(独立行政法人情報処理推進機構)

ヒトとAIが共生する社会を実現するためには、AI開発と日本の社会的課題を同時に解決するエコシステムの構築が必要です。この度、IPAでは、産官学の有識者と共にデータ・AIの利活用とリスクの両面から「AI共生型社会」の将来像を描き、開発と課題解決に関する知見・ノウハウを集積する場として、「AI共生型社会実現促進ワークショップ」を開催いたします。第4回は「教育」をテーマに、産官学の有識者によりAI活用の有用性、活用にあたっての課題解決の観点から様々な知見を共有します。

プログラム

- **15:30-15:35 開会挨拶**
  IPA(独立行政法人情報処理推進機構)
  理事長 齊藤 裕
- **15:35-15:55 基調講演①「Ed-AI研究会の取組、教育におけるAI利活用の事例や可能性」**
  東京大学大学院情報学環 教授
  越塚　登　氏
- **15:55-16:15 基調講演②「教育DXロードマップ　～AIやデータの利活用で“自分らしく学べる社会”に向けた青写真と工程表～」**
  デジタル庁国民向けサービスグループ・企画官(教育班担当)
  久芳　全晴　氏
- **16:15-16:35 基調講演③「生成AIの潮流と教育での利活用の最前線」**
  一般社団法人Generative AI Japan　発起人・業務執行理事・事務局長 /
  株式会社ベネッセコーポレーション データソリューション部 部長
  國吉　啓介　氏
- **16:35-16:45 休憩**
- **16:45-17:30 パネル討論**
  パネリスト:
  東京大学大学院情報学環 教授
  　越塚　登　氏
  デジタル庁国民向けサービスグループ・企画官(教育班担当)
  　久芳　全晴　氏
  一般社団法人Generative AI Japan　発起人・業務執行理事・事務局長 /
  株式会社ベネッセコーポレーション データソリューション部 部長
  　國吉　啓介　氏
  ファシリテーター:
  　IPA (独立行政法人情報処理推進機構)
  　上席執行役員 内田 了司(前経済産業省商務情報政策局情報技術利用促進課長)
- **17:30-17:40 クロージング**
  IPA(独立行政法人情報処理推進機構)
  理事 奥村 明俊

<Contact Us>
東京都文京区本駒込2-28-8文京グリーンコートセンターオフィス
IPA (独立行政法人情報処理推進機構)　国際・産業調査部
E-mail：ga-ra-info@ipa.go.jp

IPA Information-technology Promotion Agency, Japan

お申込みは2次元コードもしくは下記URLから
https://info.ipa.go.jp/form/pub/application/ai-workshop202512

第4回AI共生型社会実現促進ワークショップ
2025年12月2日（火）15:30-17:40

講演者紹介（ご講演順）

「Ed-AI研究会の取組、教育におけるAI利活用の事例や可能性」

東京大学大学院情報学環 教授
越塚 登 氏

現在、東京大学大学院情報学環・教授。1994年、東京大学大学院 理学系研究科 情報科学専攻 博士課程修了、博士（理学）。東工大助手、東大助教授・准教授を経て、2009年より現職。専門は計算機科学。特に、IoTやデータスペース、スマートシティ、スマートビル／ハウス、オープンデータ、オペレーティング・システム、コンピューターネットワーク、ヒューマンコンピュータインタラクション、ブロックチェーンなどの研究に取り組んできた。近年は、法制度やビジネスモデルも含んだ社会基盤としての計算機システムの構築に関心を持つ。具体的には、データスペース（DATA-EX、xIPF）、スマートシティのプラットフォームとしての都市OS、EdTechなどの研究・開発・社会実装に取り組んでいる。一般社団法人データ社会推進協議会会長、一般社団法人スマートシティ社会実装コンソーシアム理事長、JEITA Green x Digitalコンソーシアム座長、気象ビジネス推進コンソーシアム会長、デジタル化横展開推進協議会共同代表、など、を務めている。

「教育DXロードマップ　～AIやデータの利活用で“自分らしく学べる社会”に向けた青写真と工程表～」

デジタル庁国民向けサービスグループ･企画官（教育班担当）
久芳 全晴 氏

山口県出身。2003年、文部科学省入省。これまで、高等教育政策、地域スポーツ政策、熟議に基づく教育政策形成、教育委員会制度、新国立競技場整備事業、学校施設整備、気候変動予測データの創出・利活用等の業務に携わる。また、内閣官房教育再生会議担当室（2006-2008）、岡山県教育委員会（2012-2014）、在タイ日本国大使館（2018-2021）にも出向。2023年6月より、デジタル庁にて企画官として教育班のリーダーを務める。

「生成AIの潮流と教育での利活用の最前線」

一般社団法人Generative AI Japan 発起人・業務執行理事・事務局長 /
株式会社ベネッセコーポレーション データソリューション部 部長
國吉 啓介 氏

ベネッセグループにおいて、主に教育・介護事業でのデータ利活用によるDX推進に従事。生成AIを社会実装し、社会課題解決につなげるためには、多くの企業・団体と連携し、共に課題を解決していける枠組みが必要と感じ、一般社団法人Generative AI Japanの設立に参画。
博士(経営学)。計測自動制御学会システム・情報部門論文賞などを受賞。生成AIのユースケースとともに価値創造のあり方をまとめた「生成AIのユースケースから考える未来の価値創造」（https://www.ipsj.or.jp/dp/contents/publication/61/DP61-S01.html）など、様々な形での発信活動を行う。NEDO技術委員、滋賀大学データサイエンス学部インダストリアルアドバイザー、一般社団法人データマネジメント協会日本支部理事などを通し、データやAIを価値につなげるための方法論づくりや人材育成活動に従事。

2025年10月21日 独立行政法人情報処理推進機構
©Information-technology Promotion Agency, Japan（IPA）
https://www.ipa.go.jp/